

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	現在の理念は数年前に職員が考え、掲げたものである。職員にとっては馴染みのあるものであり、今後も理念の中心に据えるべきであるが、具体的な目標や行動に反映するにはやや抽象的である。	現在の理念をもとに、施設、ユニット、個人単位での目標や行動指針を設定することで、より具体的な理念の実践を行う。	新年度に向け、施設、ユニット、個人で目標を設定し、新年度より実践する。	3 か月	
2	28	現在、介護計画、モニタリングは各ユニットの計画作成担当者が行っているが、職員は現場主体であり、担当者会議やケアプランの作成、モニタリングなどに関わる場数が少なく、スキルに個人差がある。	入居者の担当制は実施しているが、担当者としての業務内容を、現在の業務だけでなく、担当者会議への出席や毎月のモニタリング、認定調査の対応などさらにチームケアを意識した内容にする。	新年度に向けた担当者決めの際、業務内容も新しくしたものを全員に配布、来年度より実施する。始動は各ユニットの計画作成担当者、および管理者が行う。	3 か月	
3	10 11	運営に関する意見を運営推進会議やミーティングなどで聞き、反映できるようにしているが、不十分であったり、結果の報告が出来ていない部分もある。	運営推進会議やミーティングをより有効活用できるようにする。	運営推進会議は、年間スケジュールの中に懇親会などを設け、多くの家族などの参加や、色々な意見を出しやすい雰囲気作りをする。また、実践結果などの報告を書面で行う。ミーティングは現在不定期のため、年間スケジュールを作成し、定期開催とする。	3 か月	
4	2 37	近隣に民家が1軒あるが、顔見知り程度の付き合いである。また、徒歩圏内に特養などの他事業者があるが積極的な交流や、協力体制などは出来ていない。	唯一の民家と交流を持ち、近所づきあいが出来るようにしたい。また、近隣の他施設とも積極的に連携し、交流だけでなく、災害時などの協力体制もとっていききたい。	施設の行事などに近隣の方や他施設の方をお招きし、交流の緒とする。他施設の行事にも積極的に参加する。また、地域密着型部会などを通じ、災害時の協力体制の構築などを提案していく。	6 か月	
5	8 14	権利擁護や人権に関して、研修代表者が行くことが多く、全員が受講できていないのが現状である。	職員全員が権利擁護や、人権に関しての理解がさらに深められるよう、出来るだけ多くの職員が受講できるようにする。また、受講できない場合は確実に伝達できるように工夫し、全員が理解できるようにする。	受講の機会には出来る限り未受講者を中心に参加し、また、受講後は全員に確実に伝達できるよう、伝播講習の実施と書面での回覧を必ず行うようにする。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()